

「水辺の小さな自然再生」事例紹介

記入日 2019年2月

都道府県名	岐阜県		河川名	武儀川				
事例タイトル	河川と農地をみんなでつなぐ『水みち連携事業』							
写真								
水系名/河川名	木曽川水系/武儀川		場所	岐阜県関市千疋				
位置情報 (緯度経度)	35.488506, 136.844166		活動開始年	2015年				
活動概要 (経緯・目的等)	<p>岐阜県では、「清流の国ぎふ・水みちの連続性連携検討会」という、県の県土整備部河川課（河川管理者）、農政部農村振興課（水田関係）、農政部農地整備課（用排水路関係）、岐阜県水産研究所（水生生物）及び有識者からなる検討会を行い、川－農業排水路－里山・水田までの連続性の再生に向けた取り組みがなされています。その中で、取り組みのモデル地区が選定されており、その一つが、ここ、関市千疋地区です。この地区には、長良川と武儀川に囲まれた地域に広い水田が広がっており、岐阜県水産研究所の研究結果より、この地点の連続性（水生生物の移動性）を回復することの効果は大きいことが見込まれました。河川管理者である県が、河川内の落差解消、農業排水路側の落差解消を小さな自然再生で行いました。</p>							
再生の手法	簡易魚道	<input type="radio"/>	簡易水制（巨石・ブロック）	<input type="radio"/>	石倉かご・竹蛇籠	<input type="radio"/>	植生ロール・ポット	<input type="radio"/>
	魚道改良	<input type="radio"/>	たまり・わんど造成	<input type="radio"/>	河床攪乱	<input type="radio"/>	その他（記述）	<input type="radio"/>
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	<input type="radio"/>	河川管理者（国）	<input type="radio"/>	河川管理者（都道府県）	<input type="radio"/>	河川管理者（市町村）	<input type="radio"/>
	大学・研究機関	<input type="radio"/>	学校（小中高）	<input type="radio"/>	企業	<input type="radio"/>	その他（記述）	<input type="radio"/>
工夫した点	<p>農業排水路側に設置した簡易魚道本体は、ホームセンターに普通に売っているブロック塀などに使われるブロックと、D10の鉄筋、インスタントコンクリートで作ります。材料の数量は、あらかじめ環境修復WGメンバーの坂井悟氏が図面を引いて計算してくれたもので、ホームセンターにあらかじめ注文しておいたものを、2月29日にホームセンターで受けとったものです。鉄筋もホームセンターに備え付けの鉄筋カッターで、あらかじめ必要な寸法にカットしておいたものです。実際に農業用水を使っている時期に、魚道プール内の流れを確かめながら、深さの調整をしたり、渦巻いていればそれを解消したり、といった調整作業を可能な構造にしました。</p>							
今後の課題	<p>河川と農業排水路の連続性を確保することができましたが、今後は農業排水路から水田への連続性の確保と、これら一連の整備によってどれくらいの生物量の増加が見込まれるかといった効果検証が期待されるところです。</p>							
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<p>岐阜県水産研究所の調査によれば、河川側の落差解消及び農業排水路の簡易魚道整備前には、農業排水路で魚類4種のみ確認であったのが、整備後3年間のモニタリングで12種まで増加していることが確認されました。これは、水産研究所が濃尾平野における数多くの現地調査結果から導き出した種数－面積関係から予想された効果を裏付けるものであり、エコロジカルネットワークの回復に向けた取り組みに、科学と行政・市民の協働の有効性、小さな自然再生であっても大きな効果が得られることを実証するものでした。</p>							
関連URL等	<p>http://pinpon.pinpon.to/environmental_restoration_wg/?page_id=11 https://www.pref.gifu.lg.jp/event-calendar/c11427/suidenyodou1.html</p>							